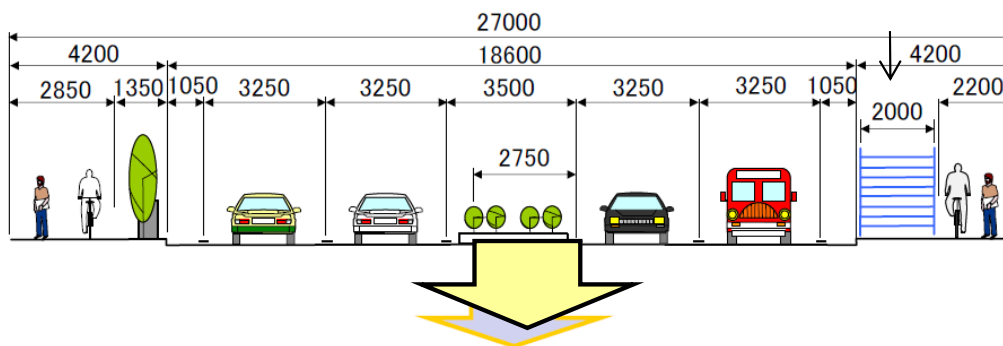


清水駅前地区自転車通行環境整備モデル地区

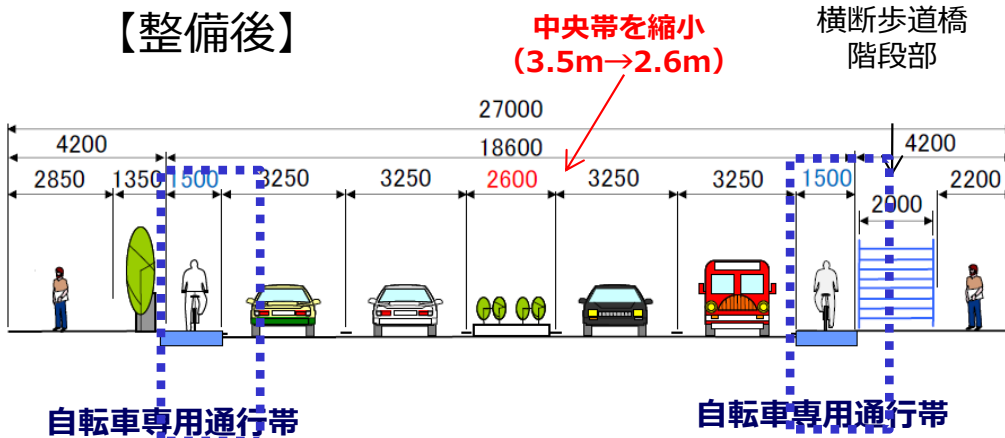
- 通学生や買い物客等の自転車の利用の多く、自転車事故が多発していた『JR清水駅を中心としたエリア』を「自転車通行環境整備モデル地区」に指定（平成20年1月）。
- 地域住民等とのワーキングを開催し、清水駅前地区自転車通行環境整備計画を策定。
- 国道1号は自転車専用通行帯の整備が計画され、平成24年3月15日に供用。

<国道1号>

【整備前】



【整備後】



中央帯を縮小
(3.5m→2.6m)

【整備前】



【整備後】



国道1号清水駅前地区



自転車通行環境
整備モデル地区

- 国管理
- 市管理

○地域と行政が連携したワーキングを開催し、自転車利用における現況の道路構造、交通状況、沿道状況からの課題を抽出し、自転車と歩行者を分離するための整備方針を検討。



国道1号（自歩道の視覚分離）



市道辻町北脇1号線
（自転車レーン設置）



市道袖師村松線
（自転車レーン設置）

市道島崎町袖師町線（自転車道に準ずる構造）



＜ワーキングの検討内容＞

- ◆現状の課題整理（各路線の課題）
- ◆整備方針（案）の検討
（自転車と歩行者の分離方法）
- ◆実証実験（市道辻町北脇1号線）による効果検証

＜ワーキンググループメンバー＞

- ・自治会
- ・自転車利用者（静岡市交通指導員会、清水区老人クラブ連合会、しみず女性の会、三菱サイクリングクラブペダル、静岡市交通安全母の会清水支部、清庵地区高等学校校外補導連絡協議会）
- ・静岡県警察本部、所轄警察署
- ・静岡国道事務所
- ・静岡市

